

春合宿 剣岳 小窓尾根～早月尾根

期間:2010年5月1日～3日

メンバー:田中L、斎藤、野澤(記)

田中さん 今年の春合宿(5月連休の山行のこと)に西穂高～槍ヶ岳行きませんかと声をかけたら、今年には剣岳を狙っているとのこと。行く?と言われいつもの如く行けるならば行きたいと即答。直前に頼もしい助っ人の斎藤さんも加わって3人で行くことになった。

頑張らねば!

4/30(金) 曇りのち時々小雨

15:00 橋本駅集合

22:00 馬場島着

この日も高速1000円該当日になったので、早めに出発することになった。田中さんが一人で運転を頑張ってくれた。申し訳ない。馬場島の建物の下へテントを張る。既に1張り。夜中にもう1張り。意外と車も多い。

5/1(土) 晴れ

5:00 起床

6:08 出発

7:00 取水口堰堤

8:05 雷岩

9:30 稜線 1410m

10:00 1620m 休憩 10:20 出発

12:10 1985m 幕営

さあいよいよスタートだ。林道にも雪が残っている。取水口堰堤でアイゼンを付ける。心配していた渡渉は、雪が豊富で雷岩までは雪渓上をスタスタ歩いていけた。途中で水を汲む。



【 雷岩 】



【 雷岩から稜線への上り 】

ここから稜線まで一気に上る。元気でルンルンに上る斎藤さんと、「父なのにハーハー(母)言っている」などと駄洒落連発の田中さんと私は、既にあごがあがりぎみ。

1410mで稜線に出る。天気は最高。斎藤さんが「剣はすげ～」を連発! 本当に満々と雪を抱え岩稜帯も迫力がある。「やっば、剣はすげ～」

トレースらしき跡はあるが、うっすら雪が被っている。トレースをつけながら高度をあげ

ていく。1620mと幕営地点間近で休憩を取った。休憩中も写真を取りまくる。

幕営場所手前で休憩中に3人組の若手クライマー連中に追い越される。後で聞いたら、会の白土さんや神戸さんたちのお知り合いだった。

11:00頃から、剣尾根で雪崩が頻繁に発生しはじめた。何とも言えぬ恐ろしい音である。

1985mから先は、良いテン場まで時間がかかりそうだったので、今日はここで幕営することにする。先まで行くと思っていた若手クライマーは既に幕営していた。風が抜けそうな広いところに整地&壁を作りテン場とする。



【 剣岳の大迫力に大満足の斎藤さん 】
その後もどんどんパーティーが上ってくる。本日は5張。

やることもなく、テントから出て外で景色を見ながらおしゃべりしていると、早月尾根の早月小屋上部でヘリコプターがホバリングしている。見る見るうちに尾根部に雲がかかってきた。視界は利かないと思われる。ホバリングし捜索しているような感じ。何回も馬場島と往復していた。何か有ったか？翌日、早月小屋のご主人から、2400m地点から700m滑落し亡くなられたと聞いた。ご冥福をお祈りします。

今晚は、麻婆茄子&春雨。ご飯も米からしっかり炊き上げてくれた。山でしっかりした食事が嬉しい。ありがとうございます。酒も

限りがあるし、明日は核心部が待っているの、早めに寝ることとする。19:00就寝。夜中に風が出てフライの音がうるさかった。

5/2(日) 晴れ

4:00 起床

6:20 出発

7:30 2142m

13:20 三の窓

今日は小窓尾根の核心部へのアタックだ。気合いを入れてスタートする。



【 スタート時 】

スタート直後のトラバースで、目の前の3人パーティーの一人が2mほど滑落。枝につかまって止まった。その下は急斜面だったので危なかった。こちらも気をつけないと。前のパーティーの樹林帯のルートではなく、左の雪壁にチャレンジするが、最後の詰めが立っていて厳しい。結局、樹林帯のルートに戻る。

ニードルが見えてきた。



右から巻いて斜めに懸垂下降。残置ロープもあるが不安だったのでザイルを出し通過する。



【 ニードルの巻き 】

雪の状態も良くドームも何なく通過。

マッチ箱手前に、トラバースと傾斜のきつい雪壁が現れる。雪は締まっていたが、下も切れていたため念のためザイルを出しダブルアックスで超えていく。とにかく、天気も良く、雪も締まっていて歩きやすい。

小窓の頭が見えた。トレースが小窓へ行かずに下を巻いている。せっかくなので、小窓の頭へ向かう。



【 左:小窓の王、中:小窓の頭 】

後は、小窓王の基部から三の窓へ懸垂だ。ザイルが無くても降りられそうだが念のためザイルを出す。50mザイルを2本出し、一気に小窓尾根のトラバースまで降りる。50m1本だと途中で区切ることになるが、途中のビレイ点が心もとない。他パーティーはそこからの懸垂を諦めてダブルアックスで下降していた。少し上り返し、三の窓到着。既に5張り。雪面が硬い。スノーソーを持ってきて正解だ。斜めの部分を削り取る。立派なテン場が出来た。最終的には、11張り。賑やかだった。

人気があるんだなと感じた。



【三の窓:後方は後立山連峰と斎藤さん】

5/3(月) 晴れ

4:00 起床

6:00 出発

6:40 長次郎乗越

8:04 剣岳山頂

10:20 早月小屋 大休憩 出発 11:50

14:20 馬場島



【 後立山連峰の朝 】

三の窓から池の谷乗越を見上げる。長い～！

朝一番から、気合いを入れて頑張る。池ノ谷ガリーを上る。長次郎の頭まで急登だ。雪壁をダブルアックスで越えていく。剣岳の山頂が間近に見える。八峰にも人が見える。とにかく快晴の元絶景を楽しみながら上る。剣岳の頂上直前にすごく細いリッジがあり緊張する。

そこを通過すると頂上は目前だ。多方面から登ってくる人で賑わっていた。8:04剣岳頂上着。



【 剣岳山頂にて 】

頂上の祠や頂上の看板が見えない。雪に埋もれているのだ。一応3人で記念写真を撮ってもらおう。混んでいるので、長居は無用とばかりにすぐに下山の早月尾根へ向かう。上半部のポイントをダブルアックスで下降していく。

途中、団体さんとすれ違う。早月尾根はもっと人気ルートのような。2600mの地点で傾斜のある下降があり悩んだが、捨て縄もあったので、50mザイルを2本出し懸垂で下



る。

今日は早月小屋泊まりの予定だが、この調子で行くと10:00過ぎに着いてしまう。他のパーティーは今日中に馬場島へ下山するとのこと。

全ては田中リーダーの判断に委ねる。

早月小屋10:20着。下山することになった。時間がたっぷりあるので、軽ビールを飲みながら大休憩を取る。後はのんびり下山する。途中でコースから外れバックカントリーを楽しみながら下山した。





帰りは、ホテルのような「つるぎ恋月」温泉で汗を流し、富山駅まで出て、地元の美味しいものを食べて帰路に着いた。少し遠回りになったが、とっても美味しく、このパターンも病みつきになりそう。

斎藤さん、美味しい地元の酒と一緒に飲めないのが悔しそうだった。

地元に着く頃には電車が無かったので、自宅まで送ってもらった。至れり尽くせりで申し訳ありません。

初めての残雪期の剣岳。不安たっぷりだったが、強いメンバーに支えられ無事踏破することが出来ました。皆さんお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

